

石川県かほく市		●活動名 高松中学校学校運営協議会			●関係する学校名 かほく市立高松中学校	
協働活動開始年度	平成 28 年度	学校運営協議会	指定・設置日 平成28年4月1日設置	地域学校協働本部	無	
活動区分	学校支援活動		—	地域人材育成		
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		地域学校協働活動推進員等の数	配置人数		
	2人		1人	1人		
ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	ICT機器活用	無	
	72人					
参考URL	cms1.ishikawa-c.ed.jp/~takamj/NC2/htdocs/					
●連絡先	かほく市教育委員会事務局生涯学習課			☎ 076-283-7137		



●活動の概要・経緯
子どもたちや学校、地域がより元気に明るく暮らせる方を学校運営協議会で協議、検討し、学校運営や地域行事に反映している。高松中学校には市教育委員会が学校コーディネーターを1名配置し、学校と地域との連絡・調整や事業の企画・運営を行っている。学校の授業のゲストティーチャーや学習支援、授業のサポートとして地域住民の協力を得ているほか、学校行事やPTA活動、部活動やボランティア活動などでも協力し交流をしている。学校運営協議会の委員やPTA役員が地域人材を把握しており、学校コーディネーターと連携することで、さまざまな活動に地域から多くのサポーターの協力を得ている。また各教職員と学校コーディネーターのコミュニケーションが取れているため、調査や準備などの対応が早くできている。市内のほかの学校コーディネーターとの定期連絡会でお互いの活動について情報交換をし、活動の充実に努めている。

● 活動の特徴・工夫

【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①学校運営協議会の中で、地元の特産品である「高松ぶどう」を中庭で育て、生徒たちにその良さを知ってほしいという案から、平成29年に中庭にぶどう棚を設置した。栽培には高松ぶどう生産組合の方が協力して下さっている。1年生が「高松ぶどう」について半年かけて重点的に学んでおり、育成方法や流通の仕方、加工製品、ぶどう農家や後継者問題などぶどうにまつわることについて調べ、学習成果を文化祭などで発表している。
- ②校区内で実施しているPTA活動の資源回収作業で、民生委員の協力を得て、希望する高齢者宅の回収物を中学生が結んだり運び出したりしている。
- ③社会福祉協議会で中学生の希望者を対象に、ボランティアサークル「絆」を組織している。生徒と社会福祉協議会との連絡調整を学校コーディネーターが行い、毎月1回のミーティングをしている。民生委員・主任児童委員・社会福祉協議会職員の助言のもと活動内容や参加人数など生徒自身で考え、実施している。

【実施に当たっての工夫】

- 生徒たちが、「生育」「流通」「食」などさまざまな視点から高松ぶどうについて学習することで理解を深めるようにしている。
- 資源回収作業の中で、中学生に自身が地域の一員として活躍することができることを体験でき、また地域住民との交流も図れた。

【関係機関・団体等との連携状況】

高松ぶどう生産組合やJA石川かほくの職員と連携し、授業の中でぶどう学習を進めるだけでなく、教育課程外でも発表や活動の機会を実施・検討している。ボランティアサークルの活動については、毎月のミーティングで社会福祉協議会の職員や民生委員・主任児童委員と生徒の打ち合わせに出席し、生徒たちの支援に努めている。

● 地域学校協働活動を実施しての効果・成果

学校のさまざまな場面で地域住民などの協力・支援があり、生徒たちは多くの体験をできている。またボランティア活動では生徒それぞれが社会の一員であり、地域に対して協力しお互いに住みよいまちづくりをすることの大切さを学んでいる。生徒や学校と共に活動した地域住民からは「学校へ行って中学生と関わるのが楽しい」「普段していることが役に立ってやりがいがある」「中学生から元気をもらっている」などの声を聞いている。学校コーディネーターが地域と学校の連絡・調整や情報収集を行っていることで教職員の負担軽減につながっている。

● その他

新春の全校生徒参加のカルト大会では、競技かるたの選手を招いて全国レベルの技術を見せていただいた。また人前での話し方、自分の言葉をどう伝えるかをプロの芸人から教わる「表現力アップ教室」を実施した。

